

村高マスコットキャラクター

香美町集落ガイドブック vol.2

- 【発行日】 2019 (平成31) 年3月20日 初版
【発行】 兵庫県立村岡高等学校
〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡 2931
☎0796-94-0201
- 【監修】 鳥取大学地域学部
【協力】 香美町地域おこし協力隊 房安晋也
【デザイン・印刷】 スタジオK1
【スタッフ】 兵庫県立村岡高等学校
村高発地域元気化プロジェクト集落調査班
田中和麿 西田すず乃 藤井陸矢
小林笑果 坂本就希斗 中田結子
地域アウトドアスポーツ類型地域創造系
1~3年生 (57~59期生)

ISBN 978-4-9907829-5-5

集落魅力発信プロジェクト

むらの風景

香美町集落ガイドブック vol.2

発行 兵庫県立村岡高等学校
監修 鳥取大学地域学部

高校生の目線で独自に歩いて集めた情報をもとに、集落の隠れた魅力を発見し、高校生の視点で作成したガイドブックvol.2です。このガイドブックをみなさんが手に取り、訪れていただくことを楽しみにしております!

さらに、集落調査ハンドブックとなるよう、実際に行った集落調査をもとにまとめてみました。あなたも集落の魅力発見をいっしょにやってみませんか!

もくじ

香美マップ	2
集落魅力紹介	3
17 耀山	3
18 久須部	5
19 忠宮	7
20 板仕野	9
21 長瀬	11
22 鹿田	13
23 広井	15
24 相田	17
25 野間谷	19
26 鍛冶屋	21
27 熱田	23
28 原	25
29 神場	27
30 平野	29
31 神坂	31
集落調査をやってみよう!	33
おわりに	38

香美マップ





か か や ま

耀山

不思議な水で
病気対策!?

香美町村岡区耀山

耀山地区には、水神様をまつる「耀子の清水」というおいしい水がある。この水は昔、区内の子供たちの成長を助けたり、疫病の流行を最小限にとどめたといわれている。

また水神様は耀子社としてあがめられ、今もお遠方から清水の味を気に入ってくみに来る人も多い。

さらにコーヒーや炊飯に使うと一段上の食卓を楽しめることだろう。一度飲んでみて味の違いを確かめてみてはいかが?



人口	78人
世帯数	29世帯
高齢化率	46.2%
主な行事	夏祭り(懇親会)、 そうめん流し、 秋祭り
歴史	かつて金山の開発 で栄えた

集落データ (H30.4.1)

めざせコミュニティマスター

耀山から湧き出る天然の水

香美町を離れたあなた!
耀子の清水をご存知だろうか?国道9号線を逸れて坂道を登ったところに耀山はあり、そこにぽつんとある社からおいしい水が絶え間なくながれている。清水は水温13度から14度、弱アルカリ性の軟水でやさしい味。そして耀山には女郎滝という滝もながれている。

この滝は村岡区日影地区の猿尾滝と夫婦滝であるといわれており、女郎滝はしなやかで女性らしい印象を与える。

く す べ 久須部

香美町小代区久須部

自然界のミステリー

自然と歴史を間近に感じることができる久須部。この集落の一番奥まで行くと歴史を感じる鉱山の跡地がある。戦前までは金が多く取れていたが、戦争が始まると金が不要だという理由から閉鎖されてしまった。その奥には「三段滝」や「要滝」といった二つの大きな滝がある。周りは緑に囲まれており、静かな空間の中に流れる滝の音が心地よく体をリフレッシュさせてくれるだろう。

人口	24人
世帯数	11世帯
高齢化率	70.8%
主な行事	山の神様の祭り (10/9)
歴史	金銀鉱山

集落データ (H30.4.1)



写真好き
にはもって
こい!?



めざせコミュニティマスター
久須部を舞台に
ミステリーツアー!?

滝や鉱山など、自然を間近に感じることができる場所がある。その中には滝の近くに電話ボックスがあったり、昔、砂鉄によってキラキラ光っていた川があったりと、多くの不思議が存在する。それらは写真スポットとしても絶好の場所であるため、写真好き、ミステリー好きとともに久須部でミステリーツアーを開催すればそこで新たなコミュニティが生まれるだろう。



ただのみや

忠宮

地域の子どもを
近くで見守る

香美町小代区忠宮



人口	73人
世帯数	29世帯
高齢化率	43.8%
主な行事	歳旦祭、星祭り、 稲荷祭、川すそ祭、 秋祭り、慰霊祭
歴史	多他神社、城山城跡

集落データ (H30.4.1)

小代の中心に位置する忠宮地区には、小代区のこども園、小学校、中学校があるため、外からは元気な子どもたちの声が聞こえてくる。また、延喜時代から残る歴史の深い多他神社では、4月には稲荷まつり、10月には秋祭りというように、季節ごとに伝統的な行事が行われ、神様への感謝の気持ちを再認識する機会となっている。



めざせコミュニティマスター 地域の図書館in小学校

「ここは子どもが少ない…」小規模集落でよく聞かれる言葉だ。しかし、忠宮には小代唯一の図書館がある。その図書館は小代小学校とつながっているため、図書館に行けば小代地区の小学生に会うことができる。普段関わるのが少ない小学生世代の子どもと交流する機会を持つことができ、何気ない会話を交わすことができるというのも魅力の一つだ。また、様々な種類の本が揃っている他にも、勉強スペースやDVD、ビデオを見るスペースもあり、ゆったりとした時間を過ごすこともできる。調べ物や読書、勉強などの合間に、小学生と会話してリラックス…。気軽に立ち寄れる地域の図書館をこんな風楽しんでみては！？



寒暖差・ミネラル豊富な水・粘土土によって作られた板仕野地区のお米「とろかわの恋」がある。また、伝統的な地区の行事が多く、住民が協力する機会が多いことも魅力の一つだ。



瀬川滝(本滝)

いたしの

板仕野

～自然・歴史とともに暮らす村～

香美町村岡区板仕野

秘境の奥にたたずむのどかな村、板仕野地区。ここには240年の歴史を持つ「瀬川稲荷神社」がある。

赤い鳥居をくぐればそこには神秘的な空間が広がり新たな世界観を味わうことができるだろう。



人口	99人
世帯数	32世帯
高齢化率	43.4%
主な行事	稲荷神社春まつり 大師講 盆踊り
歴史	瀬川稲荷

集落データ (H30.4.1)

街にないものあります

田田びより

板仕野には長い歴史をもつ「瀬川稲荷神社」がある。この神社は神に授けられた位階において最高位の「正一位」に位置付けられている。また、神社には多くの鳥居や「さざれ石」があり、さらにその神社の奥には秘境百選に登録されている「瀬川渓谷」がある。

～こんな人おいで！～

板仕野地区には美しい景観の中に歴史を感じることができ、それと同時に自然も楽しむことができるスポットが多くある。また、地区の歴史に詳しくて温厚な方が多い板仕野地区のみなさんはきっとあなたを歓迎し、多くのことを教えてくれるだろう。あなたも板仕野地区で歴史を学びながら素敵な田舎暮らしをしてみませんか？



街にないものあります

田田びより

この地域には5本の巨木があり、その中のタブノキ、朴の木、杠の3本が 県の名木に指定されている。長瀬の人々は古くから巨木信仰があり、今でも村の巨木は村の人々の心の拠り所となっている。

～こんな人おいで！～

巨木が多くある地域は珍しく観光客も多く訪れる。また、昔から長瀬の人々に大切にされている地域の象徴だ。

こんな価値のある巨木に興味のある人、長瀬の方と交流したい人、圧巻の自然や長瀬の良さを感じてみてはいかが？

自然がたくさんある小さな集落、長瀬。南北の谷で日当たりが少ないが夏はとても涼しく感じることができる。長瀬には木造の『但馬六拾六地藏尊』や『名木』など歴史を感じることができるスポットがたくさんある。また、年に1回観音堂で地域の人々が集まり盆踊りが行われる。春は豊作を祈る春祭り、秋は収穫を祝う秋祭りと年に2回祭りが行われ、子どもからお年寄りまで仲良く住民一人一人が村にあるものを大切にしている。

ながせ 長瀬

香美町岡区長瀬

一度は見るべき
村の象徴



人口	93人
世帯数	27世帯
高齢化率	34.4%
主な行事	春祭り、盆祭り、秋祭り
歴史	知見古墳

集落データ (H30.4.1)



しかだ 鹿田

ふるさと教育の 体現集落

香美町村岡区鹿田

村岡商店街を抜け国道9号線を通ると見える「村岡温泉」の看板。春には川沿いの桜並木が桃色に染まり、鹿田集落を華やかにする。子どもから老人まで仲が良く、にぎやかなこの集落は、地域全体でのイベントがたくさんある。また、「森ちゃんの隠れ家」をはじめとする事業所がたくさんあり、地域外から移住してくる若い世代も増えている。年々と移住者が増加しているのは鹿田集落ならではの魅力があるからではないだろうか。



地域で育てる未来世代

ふれ合いのつどいでは鹿田区内の子供が集まり、鹿田区の歴史を学んだりコミュニケーションを図ったりしている。このようなイベントを通して、子どもたちや地区の大人が一緒になって活動することで、ふるさと教育の場にもなっている。子どもたちが地区の歴史を知ること、子どもたちの鹿田に対する思いは強くなるに違いない。

人口	86人
世帯数	24世帯
高齢化率	26.7%
主な行事	ふれ合いのつどい、 鹿田の歴史をめぐる会
歴史	寛永12年の大洪水

集落データ (H30.4.1)



ひろい
広井 古代を生きた人々の生活体験

香美町小代区広井

地域で育てる未来世代

広井では多くの古代遺跡が見つかったことから先人の人々の生活を多くの人々に知ってもらうために「古代体験の森」が建てられている。

日本に人々が住み始めて開拓をした時代、「縄文時代」の遺跡を目で見て、土器を作ったり、古代食を食べ、体全体で体験してみたいか？



メインロードを外れた広井集落には、豊かな田園風景が広がっている。矢田川の右岸沿いの田んぼのある場所では縄文・弥生時代の遺跡が多く存在し、勾玉や土器など多くのものが出土した。

今ではその多くの遺跡は、土の中に眠ってしまっていた。しかし、「古代体験の森」にある上ノ山遺跡の7000年前の住居跡は今でもそのまま保存されている。

人口	63人
世帯数	22世帯
高齢化率	47.6%
主な行事	百萬遍、お日待ち、秋祭り
歴史	上ノ山遺跡、広井代遺跡

集落データ (H30.4.1)



あ い だ

相田

香美町村岡区相田

～子どもが正しく育つ地区～



地区のシンボルである相田神社は、長く地区の皆さんの手で守られてきた。昔は神社内にあるお堂でお芝居や盆踊りを行っていた。現在では毎年9月23日に秋祭りを開催し祭りの目玉であるもちまきなどを行っている。

そして平成30年には神社を守ろうという地区の皆さんの強い気持ちから2度目の改修工事を行って、保全に努めている。この神社を守っていくという意識は代々受け継がれ、2歳の子供でも神社の前に行くと自然に手を合わせる習慣が身についている。

人口	45人
世帯数	21世帯
高齢化率	33.3%
主な行事	秋祭り(収穫祭)
歴史	かつてスキー場があり、青少年旅行村としてにぎわった。

集落データ (H30.4.1)

地域で育てる未来世代

2歳の子供が神社にいくと自然と手を合わせる。この光景はとても珍しい。これは、地区の方たちの神社に対する思いがとても強いからだろう。改修工事を2回行い、神社を代々受け継いでいこうという思いが子どもたちにも伝わっているのだろう。また神社での祭りも多くあり、大人も子どももアットホームな雰囲気があるのも魅力の1つだ。



相田神社・荒御霊神社



の ま た に

野間谷

香美町小代区野間谷



心も身体も健康な暮らしを。 秘訣は野間谷一家に有り

急峻な坂道の中腹に位置する野間谷集落。その立地と奥まった環境に19世帯が生活している。野間谷の特筆すべきは何といっても住民同士の一体感。区民旅行やいきいきいきいきサロンなどの行事ごとは、住民の方が「大人から子どもまで区民全員が参加する」と言っていた。

毎日、坂道を登って、「野間谷」という家に帰る。そんな生活を送ってみたいはいかが？

人口	43人
世帯数	19世帯
高齢化率	39.5%
主な行事	グラウンドゴルフ大会、子供会、地区旅行
歴史	光明寺(平野)の前身、善福寺がかつて野間谷にあったといわれる

集落データ(H30.4.1)

地域で育てる未来世代

この集落は健康を第一に考えている。正月集会などで区民が集まるときは、野間谷に住んでいる看護師が健康について話をしている。

また、区民全員で行う行事も多い。毎年11月には、グラウンドゴルフ大会を行うなど交流することが多い。区民同士が家族のように接している野間谷集落では、安心した生活がおくれること間違いなし！



か じ や 鍛治屋

香美町小代区鍛治屋

～大きな滝を支える小さな集落～
A big waterfall, A small village

兵庫県の指定文化財記念物に定められている吉滝。人口わずか46人の鍛治屋地区にある、全長28メートルのこの吉滝には「裏見滝」という別名がある。その名の通り、表からだけでなく滝を裏から見ることができるのだ。滝の裏には社があり、厳かな雰囲気漂っている。また、夏場にはマイナスイオンを感じられるパワースポットとして多くの人が訪れる。

吉滝までの道のりの清掃や社の管理は鍛治屋地区の人々が行っており、まさに「小さな集落に支えられる大きな滝」と言って良いだろう。

人口	46人
世帯数	18世帯
高齢化率	47.8%
主な行事	あいさつ運動 盆踊り
歴史	吉滝

集落データ(H30.4.1)



イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

おせっかいがいいところ

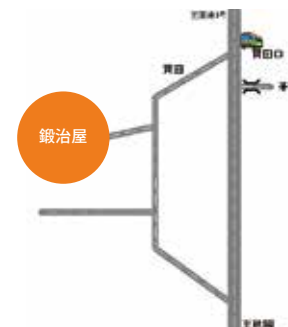
The positives of meddling in others' business.

鍛治屋地区の方々にインタビューをした際、「おせっかいがいいところ」と言う方がいた。おせっかいを焼きあえる関係性、それを「いいところ」と言える人情、どれも都会では味わえない人々の温かさを示しているのではないだろうか。

When interviewing people in the Kajiya District, there was one person who talked about the positives of being curious in others' business. By being interested in others, perhaps one can be shown the kindness of others and the feeling of a cordial relationship. This is an aspect of humanity that can't be fully experienced by many people from the cities.



裏から見た吉滝



あ つ た

熱田

香美町小代区熱田

幽寂閑雅の深山に、歌が聞こえる

A song echoes in deep mountain
that is quiet and elegant.

国道482号線の最奥、鳥取県との県境手前の山中に、熱田という集落がある。時間が止まったようにひっそりとたたずむ旧・小南小学校熱田分校跡が、かつてこの地に人々の営みがあったことを、静かに語ってくれる。耳を澄ましてみよう。風の音とともに、山にこだまする小学生の歌が、きくと聞こえてくるに違いない。

人口	3人
世帯数	3世帯
高齢化率	100%
主な行事	—
歴史	熱田の住民は1969年に野間谷地区に住居を移したため、現在はだれも住んでいない

集落データ (H30.4.1)



イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

かつて日本の牛は、品種改良のため外国の大きい牛と交配させて優秀なものにされようとしていたが、それは失敗に終わり、純血の良牛すらも絶滅したかと思われた。しかし実は、地理的条件の厳しい熱田の山奥に「幻の4頭」と呼ばれる純血の牛がいた。牛飼いたちは、その牛たちを手塩にかけて育て上げた。今ではその4頭の子孫である「田尻号」の血が、国内黒毛和牛の99.9%に入っている。熱田の厳しい環境が残した遺産は計り知れない。

In the original process of breeding Japanese cattle, Japanese cows were made to be crossed with large foreign cows to create an excellent breed of cattle, but this process ended in failure, and pure-blooded cows were thought to have become extinct. In truth, however, there were four pure-blooded cows called "Four Phantoms" living in Atsuta, which is isolated from other areas. People in the area raised these cows with great care. Their legacy can be found in 99.9% today's Japanese black beef cattle, which are the modern descendants of the Four Phantoms' "Tajirigo" offspring.

はら 原

神秘的 세계觀の体験地

香美町村岡区原



イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

原地区には天満神社、薬師堂、古墳など、歴史を深く感じることができる場所がある。毎年10月25日には、黒野神社から神主が来られ、祝詞をあげる。また、もちまきをしたり、神輿を担いだりと住民が少ない中でも伝統を大切にしている。

There are places in the Hara area where you can feel a sense of history deeply, such as at the Tenma Shrine, Yakushido and Kofun. Every year on the 25th of October, the head priest of Kurono Shrine comes to give a ritual prayer. Additionally, the traditions of rice cake making and the carrying of a small shrine are cherished amongst the sparse number of local residents.

香住へと流れる矢田川沿いに位置する原地区には、学問の神と呼ばれる菅原道真が祀られている。天満神社は1582年に建てられ、北野天満宮からご神体までが祀られ、とうかく寺、東岡寺、東仏寺が集められている。また、田んぼが広がり、農業をすることもできるため、日本の文化を肌で感じる生活を送ることができる。日本の文化に興味のある外国の方や、歴史好きの方はぜひ訪れてみてはどうだろうか。



人口	46人
世帯数	16世帯
高齢化率	41.3%
主な行事	お日待ち、盆踊り、 秋祭り、老人会旅行
歴史	伊津神1号墳

集落データ (H30.4.1)



か ん ば 神場

香美町小代区神場

神聖な場所で
落ち着いた時間を

神場地区には優しく温かい人が多くいる。村岡ダブルフルウルトラランニングでは、神場でとれた新鮮なスイカを提供している。

また、ため池が3つほどあり、フナ釣りができる。落ち着いた雰囲気を感じながら、神聖な神場の自然で遊ぶことで神場に魅力を感じ、神場に愛着が湧くに違いない。

イイ感じを合言葉に
What will you do in Kami?



神聖な場所「神場」でのフナ釣り Funa fishing at "God place"

「釣りはフナに始まりフナに終わる」日本にはこのような風習がある。神場はこの言葉に最適の場所である。神場の池から始まった釣り life は楽しいこと間違いなし！

In Japan, there is a saying: "Fishing begins with Funa and ends with Funa." Kamba is the perfect place for such a phrase. There's definitely no mistake that the fishing life that started at Kamba's pond is fun!

趣味の1つとして釣りははじめてみようと思う方、釣りを引退しようと思っている方は神場でフナ釣りをしてみてもはどうだろうか。「神の場」の名を持つ地で、メモリアルな大物に出会えるかもしれない。

To those who are thinking to start fishing as one of their hobbies, and to those who are thinking of retiring from fishing, why not try Funa fishing in Kamba? Known as "God's place," you might find yourself with a large memorable catch!



人口	32人
世帯数	19世帯
高齢化率	68.8%
主な行事	地藏盆
歴史	山名豊国の塚

集落データ (H30.4.1)





ひらのの

平野

～古き良き地で祝事を～

香美町小代区平野

急カーブの坂道を抜けると姿を現す、多くの田んぼに囲まれた平野地区。住民たちの心のよりどころとなっているお寺をはじめとして、住民にとっても大切にされている集落だ。

A district surrounded by many rice fields, which appears once you pass a steep and sharp turn. It is a settlement valued by the residents, including the temples that serve as a guide for residents' hearts.



人口	50人
世帯数	16世帯
高齢化率	42.0%
主な行事	芋煮会、お大師さん
歴史	平野城跡

集落データ (H30.4.1)

イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

平野地区には、但馬牛のルーツである田尻号の石碑や、水力で米をついでいる添水唐臼小屋、山奥の秘境といえる場所にある稲荷神社がある。



In the Hirano area, there are things such as a hydro powered rice mill and a stone monument commemorating "Tajirigo," the roots of Tajima Beef. Additionally, there is Inari Shrine, which is said to be located in a secret place in the mountains.



光明寺では仏式婚を行うことができる。教会婚が増加している今、仏式婚をすることができるというのはとても希少な経験となるだろう。また、七五三や厄除け、出産の際にも訪れる、生涯寄り添う場所で結婚式を挙げというのも人生の中で特別なものになるに違いない。このような平野地区ならではの体験に興味のある方は、ぜひ訪れてみては？

At Komyouji Temple, you can have a Buddhist wedding ceremony. Today, as the number of church-style weddings are increasing, it seems that Buddhist weddings are becoming very rare. Having a wedding here will definitely make this place a special place in your life since you can also come to the temple to pray for good childbirth, disaster prevention, and celebrate Japanese Shichigosan. If you are interested in this kind of experience unique to the Hirano area, why not give it a visit?

かんざか 神坂

～地域が守ってきた伝統～

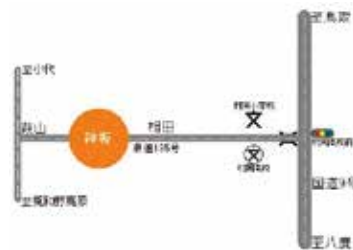
香美町村岡区神坂

神坂地区では、大昔郡主神社があったが、燃えてしまい現在の天満神社に観音菩薩と不重明主、毘沙門天王の仏像を移した。その天満神社では菅原道真が祀られており、6月28日～8月17日の期間、毎晩家ごとで明かりを灯し念仏を唱えている。

祭りを通し、住民同士とても仲が良く、和気藹々としている神坂の祭りに参加してみたいかが？



菅原道真公の没後1100年を記念し、天満神社御神忌千百年祭奉賛行事が盛大に行われた。(2002年)



人口	71人
世帯数	18世帯
高齢化率	32.4%
主な行事	観音祭、盆祭り
歴史	浄有寺、天満神社

集落データ (H30.4.1)



イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

ここでしかできないこと

Something you can not do anywhere else

神坂では8月10日に地域の人全員集まり盆踊りをしたり、お餅にさした串を藁にさし花のように飾る伝統的な祭りがある。神坂の象徴ともいえるこのお祭りは訪れるべき大切な伝統だ。

In Kanzaka, all of the people in the region gather for a traditional festival held on August 10th. At the festival there is Bon dancing and mochi skewers that are decorated to look like rose flowers. This festival, which can be said is a symbol of Kanzaka, is an important tradition to experience.



集落調査をやってみよう！

私たちが住んでいる兵庫県香美町では、高齢化と人口減少が進行し、それに伴い集落が小規模化し消滅の危機にある地域が増えています。(グラフ参照)

そこで私たちは小規模集落に活力を与え、未来に残していくために、集落の魅力を高校生ならではの視点で発見し、発信するガイドブックを作るプロジェクトに取り組みました。



このプロジェクトが各地域に広がり、地域内の方は地域への誇りと愛着を深め、地域外の方は地域を訪問する契機となることで、地域活性化の一助となることを期待しています。

電話でアポイントメントをとってみよう！

担当班	電話番号
調査対象地区	インタビュー日時
区長氏名	インタビュー場所

【重点ポイント】

- 1 用件を簡潔に伝える。
- 2 丁寧に、ゆっくり、はっきり伝える。
- 3 調査に協力してくれる相手に対して礼儀正しく伝える。

- その1 電話番号を間違えずに打つ。
- その2 あいさつし、相手に自分の所属・氏名を名乗る
- その3 調査の趣旨を簡単に述べる。
- その4 集落調査に協力してもらいたいことを伝える。
- その5 インタビューの内容を簡潔に伝える。
- その6 インタビュー日時を調整する。
- その7 こちらの用件を承諾してくれたら、日時を再確認する。
- その8 相手が先に電話を切るのを確認してから、電話を切る。

調査手順

1. 現地調査

区長さんにアポイントをとり、調査日程が決まったら、いよいよ実際に集落調査に出かけてみましょう。

まずは実際に集落を歩いてみます。

「なぜか気になる！」モノや風景などを手持ちのカメラやメモに記録します。

そして初めての聞き取り調査調査を行います。集落の概要や歴史、産業などを聞きながら、事前の散策で気になったことを質問してみましょう。そして、集落散策と聞き取り調査で得られた内容を洗い出し、各々が持っている内容をカテゴリごとに分類していきます。



2. 資料調査

次は、資料から集落を見ていきます。

地名辞典と空中写真を用意し、地名辞典では、地名の由来や集落の成り立ちを、空中写真では、集落の変遷を辿ります。ここでは客観的に集落を見る視点を持つことを意識しましょう。

そして、現地調査から得られた情報と、資料調査から得られた情報をもとに、様々な情報をつなぎ合わせて、集落の「ふしぎ」を探ります。

「ふしぎ」が見つかったら、「誰に」聞くのが効果的なのか、「どんな会話の流れで」聞くのが効果的なのか、模擬インタビューで現場の雰囲気やシミュレーションしながら、2回目の聞き取り調査の準備を行います。質問文はインタビューシートにまとめておきましょう。



3. 現地調査

インタビューシートをもとに、聞き取り調査を行いたい相手にアポイントを取り、2回目の聞き取り調査に臨みます。

まずは聞き取り調査を行いたくする工夫が大切です。聞き手自身の属性や立場、目的などを明らかにしながら、場の雰囲気をはぐくみます。本題に入っても、こちらが知りたい内容ばかり返ってくることは避けたいです。会話のキャッチボールを心がけ、聞きたい内容を徐々に掘り下げていくイメージで聞き取り調査を行います。

グループで活動している場合は、聞き手以外のメンバーが確実にメモをとっておくことで、後の行程がスムーズになります。



4. 情報整理

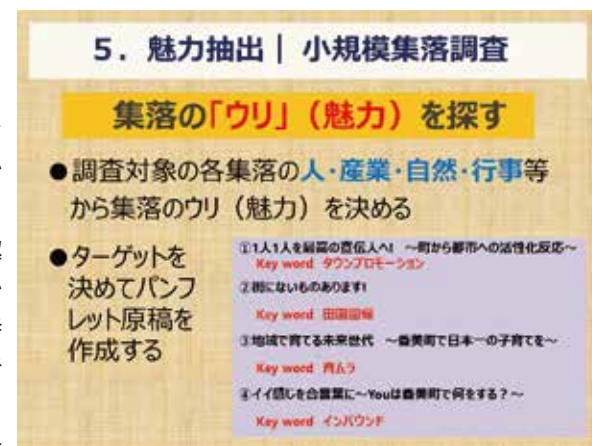
今まで行ってきた調査を思い返して、自分も持っている情報をすべて共有します。そしてそれらを分類し、ウリを決定するための準備を行います。また、ガイドブックを作成するにあたって、既存の集落ガイドブックを分析します。ここでは「作り手はどのような人をターゲットにしているか」「どのような人がこのガイドブックを求めるか」を考え、作り手が発信したい情報と読み手が求める情報が一致することの大切さを学びます。



5. 魅力抽出

これまでの情報をもとに、どのような人に対して情報を提供するのかを明確にしてから、集落のウリを決定します。例えば、年齢、性別、趣味、嗜好というように、細かいところまでターゲットの特徴を絞ります。この過程で『むらの風景』では、大きく

①香美町の宣伝人候補②田舎暮らしに興味のある人③子育て世代④外国人観光客の4グループの「情報の受け手」に対してアピールすることを目的としました。(上図参照)そして、その人たちがどのような情報を求めているか考え、連想していくことが大切です。そうすることによって、より集落のウリが明確になります。また、集落の方が推しているウリではなく、自分たちが感じるウリを発信することを意識します。



6. 魅力発信

集落の魅力を発信する為に・・・**ガイドブック**作成

～ガイドブック作成の心得～

- その1 ターゲットの選択
- その2 読み手にとって、欲しい情報
- その3 出会う確率が低い情報

「集落の魅力発信プロジェクト」で大事なことは、高校生（自分の年代にあった）目線で物事をとらえて、かつ情報の受け手を具体化しておくことです。「集落ガイドブック」が、ありきたりなものになってしまうように、自分たちの視点をしっかりと持ち、さらに他の視点からの意見を取り入れる柔軟性を大切にガイドブックを作成しましょう！

【参考資料】集落調査シート例

村岡高校版「記録シート」

調査集落： _____ 地区 _____ 回答者： _____ 記録者： _____ (_____ 班)
 調査日： _____ / _____ 時間 _____ : _____ 天気： _____

地図番号	集落で発見したモノ・コト	観点
①		見・聞・触・感・歩
②		見・聞・触・感・歩
③		見・聞・触・感・歩
④		見・聞・触・感・歩
⑤		見・聞・触・感・歩
⑥		見・聞・触・感・歩
⑦		見・聞・触・感・歩
⑧		見・聞・触・感・歩
⑨		見・聞・触・感・歩
⑩		見・聞・触・感・歩
⑪		見・聞・触・感・歩
⑫		見・聞・触・感・歩
⑬		見・聞・触・感・歩
⑭		見・聞・触・感・歩
⑮		見・聞・触・感・歩
⑯		見・聞・触・感・歩
⑰		見・聞・触・感・歩
⑱		見・聞・触・感・歩
⑲		見・聞・触・感・歩
⑳		見・聞・触・感・歩

項目	記入欄
1.地区の資源として、まず思い浮かぶもの	
2.地区の魅力として、まず思い浮かぶもの	
3.地区の自慢できるもの	
郷土芸能、伝統的芸術、工芸など	
郷土料理、食文化、特産品など	
伝統行事、祭りなど	
集落の歴史、成り立ち、昔話など	
そのほかの資源	
他の地域から人が訪れるところがありますか	
地区住民として、この地区のおすすめの場所やPRしたいものは何ですか	
地区の魅力的な人、すごい人は誰ですか	
地区ならではの産業（職場）はありますか	
子どものころから変わっていないものがありますか	
地域に残したい行事や活動は何ですか	
地域にいて幸せを感じる時はどんな時ですか	
あなたにとって「地域」とは何ですか	

○以下の「高校生視点」で地区の資源や魅力を点検して、その場所を地図に書き込みましょう。

- ・美しい自然環境・自然景観
- ・美しい街並み・建物
- ・見晴らしの良い場所
- ・営業している店
- ・風通しの良い場所
- ・居心地の良い場所
- ・美しい植物が生えている場所
- ・目立つ建物
- ・野生の動物が生息しているところ
- ・温泉がわいているところ
- ・遺跡・史跡など
- ・パス停（集落までのアクセス方法など辿りつきやすさ）
- ・五感で感じられたモノ

おわりに



兵庫県立村岡高等学校長 若浦 直樹

むらの風景VOL.2が完成しました。地域の魅力発信をするためVOL.1を作成した際に、さらなる地域の紹介をというお声をいただき、VOL.2を作成しました。今回は、地域創造系全学年で取組み、それぞれの視点での聞き取り調査から、発信方法を考え作成しました。香美町は本当に素晴らしいところです。歴史的にも文化的にも価値の高いものがたくさんあり、もっと多くの方々に知っていただきたいと思っています。このガイドブックによりさらに香美町の魅力が多くの方々に広がることを祈念し、発行に当たったの挨拶とします。どうぞよろしく願いいたします。

編集後記

兵庫県立村岡高等学校 村高発地域元気化プロジェクト 集落調査班

はじめに、香美町集落ガイドブック『むらの風景』を作成するにあたって香美町の集落の方々をはじめ、調査・出版に携わってくださった方々に厚く感謝申し上げます。

このガイドブックは、香美町の集落の魅力を高校生ならではの視点で再発見し、発信しています。実際に集落に足を運び、地域住民の集落に対する想いを聞くことは、私たちにとって、とても貴重な経験となりました。今後、このガイドブックを地域内外の方々が手に取り、魅力を再認識する方、集落に興味を持っていただける方が増加することを願っています。

鳥取大学地域学部地域創造コース 教授 筒井一伸

このガイドブックは2017年6月に発刊した『むらの風景 Vol.1』の続編です。Vol.1では地域創造系の地域探求の授業で2014年から調査を行った16集落の紹介をしましたが、その後、「村高発地域元気化プロジェクト（総合的な学習の時間）」の中に集落調査班を立ち上げ、2年間で18の集落を新たに調査し、そのうち15の集落紹介を完成させました。『むらの風景』Vol.1と2で掲載された31の集落の多くは、香美町内でも規模の小さな集落です。

私たちは5年間の集落調査を通じて小規模な集落の魅力を強く実感しましたし、高校生ならではの視線を活かして魅力の発信も少しずつではありますができてきました。香美町外の方はもとより香美町民のみなさんも「知ってるつもり香美町の知らない魅力」を発見できると思います。

2014年に地方創生が始まって5年がたちますが、どうしてもニュース性がある取り組みに目が行きがちです。しかし、地域づくりで一番重要なことは、生活の基盤であるそれぞれの集落の魅力と小規模ならではのしなやかな強さを磨いていくことです。今回は特別編として「集落調査をやってみよう！」という調査プロセスのガイドも載せました。こちらを参考にしながら、ぜひ、小規模な集落の“いい感じ”磨きを楽しんでください。

